

令和5年度 職業訓練指導員講習(48時間講習)

この講習は、職業訓練指導員の資格を取得しようとする者に対し、指導員に必要な指導方法等に関する能力を身につけることを目的として、昭和45年労働省告示第39号に基づいて実施するもので、厚生労働大臣が指定する講習です。

講習の全科目を履修し、所定の確認テストを良好な成績で修了した者に修了証が交付され、申請により秋田県知事から相当する職種の『職業訓練指導員免許証』が交付されます。

この機会に是非受講をお勧めします。

1. 受講資格 表1のとおり
2. 免許職種 『職業訓練指導員免許職種と技能検定職種との対応表』にあげるもの等
3. 実施日時 令和6年1月25日(木)、1月26日(金)、1月29日(月)、1月30日(火)
1月31日(水)、2月1日(木)
午前9時から午後5時45分まで
4. 会場 秋田県職業能力開発協会(秋田市向浜一丁目2-1)
開場時間 8時30分(時間前の会場への入場はできません)
5. 講習内容 従業員を育成・指導する方法について(詳細は表2のとおり)
職業訓練原理、教科指導方法、労働安全衛生、訓練生の心理、生活指導、関係法規、事例研究、確認テスト
6. 受講経費 16,820円(テキスト代4,620円を含む)
テキストは、「十二訂版 職業訓練における指導の理論と実際」(一般財団法人職業訓練教材研究会発行)を使用します。
7. 持参するもの 印鑑(出席確認のため)、筆記用具、昼食
8. 申込締切 令和6年1月11日(木)
9. 申込方法 受講申込用紙に必要事項を記入のうえ、資格証明書等を同封して郵送してください。
受講料の支払いは、銀行振込のみとなります。下記の振込先に振り込んでください。領収書は発行しませんので利用明細書又は振込金受取書に代えさせていただきます。

●振込先
秋田銀行 寺内支店 普通預金 口座番号 216000
秋田県職業能力開発協会 会長 佐藤 賢一郎(振込手数料は申込者が負担)
※ 受講料は、申込み締切り日までに入金してください。
入金が確認できない場合、申込みはキャンセルとなります。
10. その他
 - (1) 受講票は出しておりません。
定員になり次第受付は終了します。受付ができない場合は当協会から連絡します。
 - (2) 申し込みの変更、欠席について
受講者の変更、キャンセル、欠席の場合、原則として申込み締切り日までにFAX等で必ずご連絡ください。
※ 申込み締切り日までに連絡のない場合は受講料の返納はできません。
 - (3) インボイス制度への対応について
インボイス制度に伴う「適格請求書」が必要な場合は、事前にFAXで必ず連絡してください。講習当日に、受講者に交付します。

※すでに『指導員免許』をお持ちの方は、受講する必要はありません。

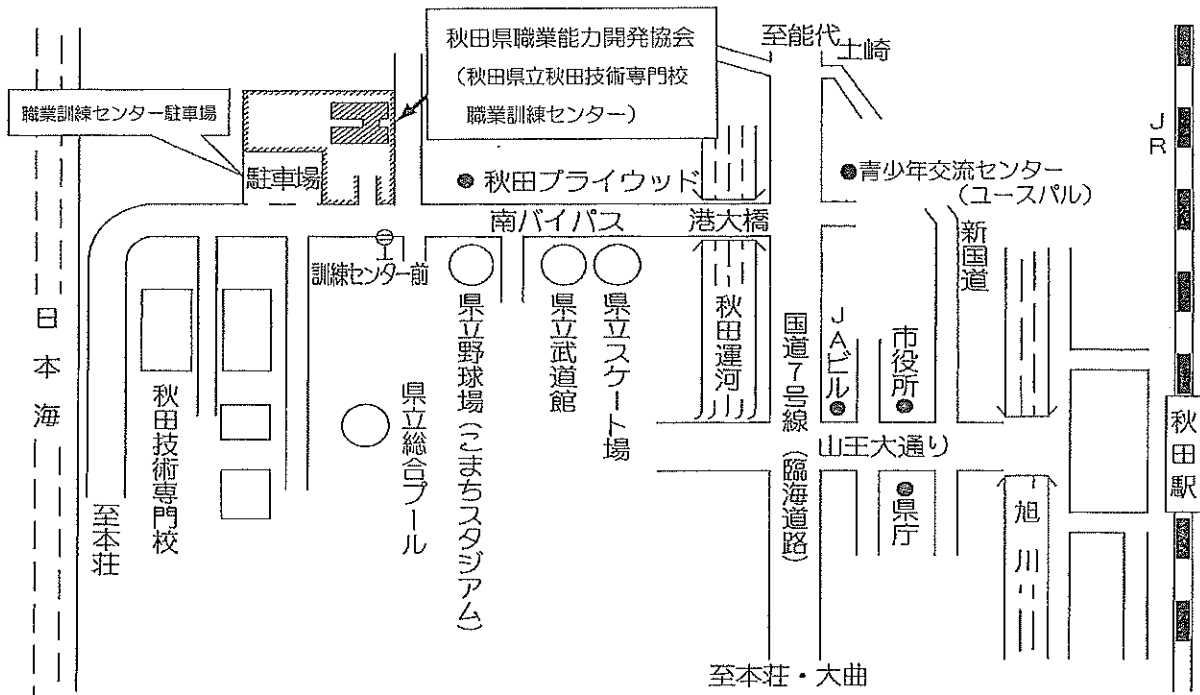
講習受講者の駐車場について

駐車可能台数に限りがありますので、乗り合わせ等のご協力をお願いします。

○秋田県職業能力開発協会

公共交通機関（バス） 秋田中央交通

- ・秋田駅西口のりば③県立プール線 訓練センター前下車



(表1)受講資格等一覧表(主なもの)

受 講 資 格		実務経験年数	添 付 書 類			
			技能検定 (合格 写)証書	訓練校 (修了 写)証書	卒業証書 (写)	(履修 成績 証明書)
一級・単一等級の技能検定に合格した者		0年	○			
学校教育法	★ 大学卒業者	2年			○	○
	★ 短期大学又は高等専門学校卒業者	4年			○	○
	★ 高等学校卒業者	7年			○	○
職業訓練法	★ 専門課程の高度職業訓練修了者	4年		○		
	★ 普通課程の養成訓練修了者	7年		○		
	★ 専修訓練課程の養成訓練修了者	10年		○		

- ※ (1) 「★」印は免許職種に関する学科を修了していること。
 (2) 実務経験年数は免許職種に関する経験年数をいいます。
 (3) 「単位修得証明書」の様式については当協会へ連絡してください。

(表2)講習内容

訓練科目	時間数	講 習 内 容
職業訓練原理	4	職業訓練の沿革、意義、目的、職業訓練の担当者等
教科指導方法	16	訓練実施計画、指導の準備、指導の進め方、教材の活用、訓練評価等
労働安全衛生	3	安全管理、安全の確保、衛生管理、衛生と作業環境等
訓練生の心理	7	訓練生の選抜、訓練生の特質の理解、技能の習得等
生活指導	6	生活指導の分野、生活指導の方法等
関係法規	4	職業能力開発促進法、職業安定関係法、労働基準法等
事例研究	6	作業分解、指導案、訓練実施計画、指導記録等の事例研究
確認テスト	2	
計	48	

職業訓練指導員免許取得者の特典

職業能力開発促進法に基づく特典

- (1) 免許取得後1年以上の実務経験で一級を単一等級は免許取得後実務経験0年で技能検定を受検することができます。
 (2) 一級、二級、三級、単一等級の技能検定試験を受検する際に学科試験が免除される。

申し込み または お問い合わせ先は

秋田県職業能力開発協会 能力開発課 まで
 〒010-1601 秋田市向浜一丁目2-1
 TEL 018-862-3733 FAX 018-824-2052

職業訓練指導員講習受講申込書

秋田県職業能力開発協会長 様

年 月 日

ふりがな 受講者氏名		(印)	受講免許職種名		科	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (年齢 才)					
現住所	〒 _____ TEL () _____					
受 講 資 格 に 関 す る 事 項	一級または 単一等級技能士 資格の有無及び 技能士の名称等	有・無 (○印で 囲んでください)	技能士の名称	一級、単一等級 技能士		
			合格年月日	年 月 日		
			技能士番号	- - - -		
	学 歴	学 校 名	学 科	在 学 期 間	卒業・中退の別	
				年 月～ 年 月	卒業・中退	
	訓 練 歴	訓 練 施 設 名	訓 練 科 名	訓 練 期 間	修了・中退の別	
				年 月～ 年 月	修了・中退	
	職 歴	事 業 所 名		職 務 内 容	在 職 期 間	
					年 月～ 年 月	
					年 月～ 年 月	
			年 月～ 年 月			
実務経歴証明	上記の者は _____ 年 _____ 月 _____ 日 から _____ 年 _____ 月 _____ 日 まで					
	※ _____ の業務に従事していることを証明します。					
【事業主 (または同業者組 合の長、第三者) の証明】	〒 _____ TEL () _____					
	所在地 _____					
	事業所名 _____					
	代表者名 _____ (印)					

- (注)
1. 受講者氏名の漢字は、戸籍抄本と同じ漢字を記入してください。
 2. 実務経歴証明欄の「※」は、受講免許職種名に対応する職種を記入してください。
(例) 受講免許職種名が「機械科」の場合は、「機械加工」と記入してください。
 3. 資格証明書を添付してください。(案内の(表1)を参照)

職業訓練指導員免許職種一覧表

(五十音順)

い	印章彫刻科	す	水産物加工科	は	配管科	
	インテリア科		スレート科		発酵科	
え	園芸科	せ	製材機械科	は	発変電科	
か	介護サービス科		製版・印刷科		パン・菓子科	
	化学分析科		製本科		帆布製品科	
	ガラス科		西洋料理科		ひ	美容科
	観光ビジネス科		石材科	表具科		
き	機械科	そ	染色科	ふ	フォークリフト科	
	木型科		造園科		福祉工学科	
	貴金属・宝石科		造船科		プラスチック製品科	
	義肢装具科		送配電科		フラワー装飾科	
	金属表面処理科		測量科		プレハブ建築科	
く	クレーン科		塑性加工科		ブロック建築科	
け	計測機器科	た	竹工芸科	ほ	ボイラー科	
	建設科		畳科		貿易事務科	
	建設機械科		鍛造科		防水科	
	建設機械運転科	ち	築炉科		縫製科	
	建築科		中国料理科		縫製機械科	
	建築板金科		鑄造科		ほうろう製品科	
	建築物衛生管理科	て	デザイン科		め	ホテル・旅館・レストラン科
	建築物設備管理科		鉄鋼科			メカトロニクス科
こ	公害検査科		鉄道車両科	麵科		
	光学ガラス科		電気科	も		木材工芸科
	光学機器科		電気工事科			木工科
	工業包装科	電気通信科	や	屋根科		
	航空機製造科	電子科		ゆ	床仕上げ科	
	航空機整備科	電話交換科	よ	洋裁科		
	広告美術科	と		陶磁器科	溶接科	
	構造物鉄工科			時計科	洋服科	
	港湾荷役科		塗装科	り	理化学機器科	
	コンピュータ制御科		とび科		流通ビジネス科	
さ	左官・タイル科	土木科	理容科			
	さく井科	な	内燃機関科	臨床検査科		
	サッシ・ガラス施工科		に	ニット科	れ	冷凍空調機器科
し	紙器科		日本料理科	わ		レザー加工科
	漆器科	ね	熱処理科		枠組壁建築科	
	自動車車体整備科		熱絶縁科	の	和裁科	
	自動車製造科					
	自動車整備科					
	事務科					
	写真科					
	住宅設備機器科					
	情報処理科					
	食肉科					
	織布科					
	織機調整科					
	寝具科					
	森林環境保全科					

(123 職種)

職業訓練指導員免許職種と技能検定職種との対応表

索引	技能検定職種	免許職種	索引	技能検定職種	免許職種
あ	アルミニウム陽極酸化処理	金属表面処理科	し	仕上げ	機械科
い	印刷	製版・印刷科		紙器・段ボール箱製造	紙器科
	印章彫刻	印章彫刻科		漆器製造	漆器科、木材工芸科
う	ウエルポイント施工	さく井科、土木科		自動販売機調整	電子科、電気科
え	エーエルシーパネル施工	ブロック建築科		写真	写真科
	園芸装飾	園芸科		酒造	発酵科
か	カーテンウォール施工	サッシ・ガラス施工科		寝具製作	寝具科
	化学分析	化学分析科、公害検査科		紳士服製造	洋服科
	家具製作	木工科		織機調整	織機調整科
	菓子製造	パン・菓子科		す	水産練り製品製造
	型枠施工	建設科	スレート施工		スレート科
	家庭用電気治療器調整	理化学機器科	せ	製材のこ目立て	製材機械科、木工科
	金型製作	機械科		製本	製本科
	ガラス製品製造	ガラス科		製麺	麺科
	ガラス施工	サッシ・ガラス施工科		石材施工	石材科
	かわらぶき	屋根科		切削工具研削	機械科、製材機械科
き	機械加工	機械科		染色	染色科
	機械検査	機械科	そ	造園	造園科、森林環境保全科
	機械・プラント製図	機械科		た	ダイカスト
	機械保全	機械科	タイル張り	左官・タイル科	
	機械木工	木工科	竹工芸	竹工芸科	
	木型製作	木型科	畳製作	畳科	
	貴金属装身具製作	貴金属・宝石科	建具製作	木工科	
	義肢・装具製作	義肢装具科	鍛造	鍛造科	
	強化プラスチック成形	プラスチック製品科	ち	築炉	築炉科
	金属材料試験	熱処理科		鋳造	鋳造科
金属熱処理	熱処理科	調理		日本料理科、中国料理科、西洋料理科	
き	金属プレス加工	塑性加工科	て	テクニカルイラストレーション	機械科
	金属溶解	鉄鋼科、鋳造科		鉄筋施工	建設科
け	建設機械整備	建設機械科	鉄工	構造物鉄工科、塑性加工科、鉄道車両科、造船科	
	建築図面製作	建築科、枠組壁建築科	鉄道車両製造・整備	鉄道車両科	
	建築大工	建築科、枠組壁建築科	電気機器組立て	電気科、メカトロニクス科	
	建築板金	塑性加工科、建築板金科	電気製図	電気科	
こ	光学機器製造	光学ガラス科、光学機器科	電子機器組立て	電子科	
	工業彫刻	機械科	電子回路接続	電子科	
	工業包装	工業包装科	と	陶磁器製造	陶磁器科
	広告美術仕上げ	広告美術科		時計修理	時計科
	工場板金	塑性加工科		塗装	塗装科
	コンクリート圧送施工	建設科		とび	とび科
コンクリート積みブロック施工	石材科	塗料調色		塗装科	
さ	左官	左官・タイル科		な	内装仕上げ施工
	さく井	さく井科	内燃機関組立て		内燃機関科、自動車製造科
	サッシ施工	建築科、サッシ・ガラス施工科	に	ニット製品製造	ニット科

職業訓練指導員免許職種と技能検定職種との対応表

索引	技能検定職種	免許職種
ね	熱絶縁施工	熱絶縁科
の	農業機械整備	農業機械科
は	配管	配管科、住宅設備機器科
	パン製造	パン・菓子科
	半導体製品製造	電子科
	帆布製品製造	帆布製品科
	ハム・ソーセージ・ベーコン製造	食肉科
	バルコニー施工	建築科、枠組壁建築科
	版下製作	製版・印刷科
ひ	表装	インテリア科、表具科
	ビルクリーニング	建築物衛生管理科
	ビル設備管理	建築物設備管理科
ふ	婦人子供服製造	洋裁科
	布はく縫製	縫製科
	プラスチック成形	プラスチック製品科
	フラワー装飾	フラワー装飾科
	ブロック建築	ブロック建築科
	粉末冶金	鑄造科
	プリプレス（旧 製版）	製版・印刷科
ほ	防水施工	防水科
	縫製機械整備	縫製機械科
	放電加工	機械科
	ほうろう加工	ほうろう製品科
み	みそ製造	発酵科
め	めっき	金属表面処理科
	眼鏡レンズ加工	光学ガラス科
も	木工機械整備	木工科
ゆ	油圧装置調整	機械科
よ	浴槽設備施工	配管科、住宅設備機器科
れ	冷凍空調和機器施工	冷凍空調機器科
	れんが積み	ブロック建築科、築炉科
わ	枠組壁建築	枠組壁建築科、建築科
	和裁	和裁科